

## 福智の魅力の コラボ革新

町の人口を上回る福智のマーンイベント  
出会いと感動の空間が、福智町を進化させる



特産の「スイーツ」上野焼の「器」、作曲家 河村光陽が誇る「音楽」。魅力のトライアングルで実現するスイードーム



毎年、まちの人口を超えるほど  
の賑わいあふれる日があります。  
平成23年度から始まった「福  
智・ファインド・フェスティバル」。3回  
目からは茶陶である上野焼とお  
茶に合うスイーツをコンセプトにし  
た「大茶会」を開催。5回目となっ  
た昨年は九州各地の有名スイーツ  
店52店舗が参加し、上野焼とスイ  
ーツのセットも好評を博しました。  
回を追うごとに話題になり、  
いまや九州最大級の規模のスイ  
ーツイベントとなった「大茶会」。  
温故知新、和と洋・多様な魅  
力が融合し、相乗効果を生み出  
す「福智の祭典」として、これか  
らもますます一期一会の空間が進  
化していきます。

### フクチ・ファインド・フェスティバル

▼「スイーツ」と「器」と「音楽」の出会い（会場／金田ドーム）



FUKUCHI FORTUNE SMILE  
食べる人の笑顔が見たいから  
幸せを届ける、まちのパティシエたち

「おいしい」の声が聞きたくて。食べる人の笑顔が見たくて  
お菓子作りは、つくる人も食べる人も幸せにする素敵な仕事  
スイーツ大茶会は、そんなパティシエたちが  
それぞれの技と味を披露する共演の場  
つくる人の数だけ、ときめきと幸せがある  
だから、楽しい。だから、心が躍る



アレルギー対応のケーキやパンを販売している「ちびちび」さ  
ん。福智町に店舗を構える洋菓子店です。ここを経営して  
いるのは、主婦であり子育て中の母でもある赤江さん。お子  
様がアレルギーをもっていたことから、食の大切さをあらため  
て学んだといいます。「スイーツ大茶会では2日間で3万人を  
超えるお客様が来場されますが、中には卵アレルギーを持ったお子様連れの方もいらっしゃいます。その  
ような方たちを含めすべての方に喜んでいただければ何よりと思います」。

現在ではイベントを通じて知り合った新たなお客様が「ちびちび」を訪れてくれるようになり、今までこだわ  
ってきたコンセプトがお客様のよろこびになって返ってくることが何よりもうれしいと語る赤江さんです。



「萬平浪漫」犬丸 龍介さん



福智町出身で萬平浪漫を経営する犬丸さん、これだけのイベ  
ントが地元で開催される喜びをひしひしと感じると語ります。  
「仲の良いお菓子屋さんから、参加させてほしいというお声をよく  
いただきます。自分が主催しているわけじゃないんですけど、周  
りからは、生まれ育った町でこんなイベントを開催してもらって  
うらやましいねと言われます」。

回数を重ねるごとにお客様の目もこえてきているので、今年は  
何を出そうかと試行錯誤を繰り返しているとのこと。お客様に  
喜んでいただくことはもちろんですが、参加する福岡の一流パ  
ティシエたちにも認められている大茶会です。

### 進化と深化。加速する福智の地域ブランド化

▼つながりの力が積み重なってカタチになる。福智スタイルの展開

数々の企業や団体、地元の大  
学とも連携し、多くの人の手で  
実現する「福智スイーツ大茶  
会」。そんな町のメーンイベントを  
はじめ、幅広く展開されている  
「地域ブランド化」の取り組みは、  
つながりの力が積み重なって広が  
りを見せてています。

ダントを招いた「思いやりの教室」の  
開催、さらにトヨタ自動車九州と  
も連携した「のりものフェスタ in ふ

日本航空との連携では、平成  
筑豊鉄道の車内でパイロットが航  
空教室を行う「JAL列車」の運  
行、東京ディズニーリゾートの  
キャストやJALのキャビンアテン

旅行読売で紹介された  
福智町の観光

くち」が実現。また、羽田空港発  
着の福智スイーツ大茶会観光ツ  
アーキャンなどのテーマパークと鉄道  
運転体験がコラボ  
したツアーや児童  
の空港見学、福  
智町イメージソ  
ングの作成、ラジオ  
番組の共催など、  
幅広い成果をも  
たらしています。

企業連携では、TOTOの「どん  
ぐりの森づくり」発祥地としての環  
境保全活動やトヨタ自動車九州の  
「スプリングフェスタ」などのPR出  
展、日立マクセルの地域貢献活動な  
どが展開され、田川地域の広域連  
携による活動も活発です。

観光面でも農家民宿の開業や体  
験ツアーコースの整備、観光ガイドの  
育成や地元グルメ店舗との連携事  
業など、福智の魅力を発信する地  
域ブランド化に向けた取り組みは、  
とどまるこなく加速しています。